

# 柏原小学校 道徳科授業フランニングシート

5 - 3 担任 小谷野 裕太

<p>① 内容項目</p>	<p>内容項目 ( D - 19 ) 生命の尊さ</p>
<p>② 教材名</p>	<p>教材名 クマのあたりまえ</p>
<p>③ 教師の道徳的価値観の 明確化 ※指導要領解説を参考に。</p>	<p>◆生命の誕生から死に至るまでの過程, 限りある命を懸命に生きることの尊さの側面から生命のかけがえのなさを自覚し、生命を尊重する心情や態度を育むことができるようにする。(本時)</p>
<p>④ 児童の実態</p>	<p>命は大切なものであることを理解し、普段の生活から言動に気をつけ、他者の命を尊重できる児童が多い。一方で、ニュースやゲームの中において「死」という言葉をを軽んじて使用する頻度が多い児童もいる。 8月には「おばあちゃんが残したもの」において人々の精神的なつながりや支え合いの中で一人一人の生命が育まれ存在することについて考えを深める授業を行った。また、11月には助産師さんを講師に招いた命の授業を行い、命の誕生の喜びに触れている。</p>
<p>⑤ ねらい</p>	<p>(A) 「死」のあるクマと「死」のない石を比較し、「クマの方が良い」と結論を出した子グマの思考を話し合う活動 <span style="float: right;">を通して</span></p> <p>(B) 生命の誕生から死に至るまでの過程の尊さ <span style="float: right;">について気付き、 (について考え)</span></p> <p>(C) 生命のかけがえのなさを自覚し、生命を尊重 <span style="float: right;">する(判断力・ 心情・実践意欲・ 態度)を育てる。</span></p>
<p>⑥ 中心発問 ◎ 補助発問 ○ 児童の反応 ・</p>	<p>◎「死ぬのは今でもこわいけど、それでもクマのほうがいいってわかったんだ。」子グマはどうして、この結論に達したのだろう?◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人と心をつなげることができるから。</li> <li>・家族がいるから。 ・感じたい。心を使いたい。</li> <li>○辛いことや悲しいことだってあるんだよ?</li> <li>○石だと不幸せ?</li> <li>・石は、死んではないけど、生きてもいない。</li> <li>○この子グマはこの後どうやって生きていくと思う?</li> <li>・命を大切にするとと思う。</li> <li>・命はずっと続かないことがわかったから、時間を大切にするとと思う。</li> <li>・死ぬのを受け入れられる。⇒○子グマにとって良かったのかな。</li> </ul>

⑦ 導入と終末を除いた展開部分の中心発問以下の発問

- 子グマはどうして死んだおすグマのことが忘れられなかったんだろう？  
（「死なないものに生まれたかったよ。」）
- クマと石の違いって何だろう？

⑧ 導入

- 命は大切だよ？なんで、大切だって言えるのだろう。

⑨ 終末

- 命の授業の想起。
- 今日、考えたことや気付いたことを自分の生活を振り返りながら、考えてみましょう。⑩

※ 評価の視点を1時間の中に入れる。⑩自分事としてとらえる／⑪多面的・多角的

板書計画(手書き・写真もOK)

命はなぜ大切か

クマのあたりまえ

死んだクマ

「死なないものに生まれたかったよ。」

死がある

クマ

石

死がない

- ・ 歌う
- ・ 足をかく
- ・ おなががすく
- ・ ねむる
- ・ 会える
- ・ 泣かない
- ・ 歌わない
- ・ つぶやかない
- ・ 思わない
- ・ 会いたくない

「死ぬのはこわいけど、クマの方が良い。」

- ・ 他の人と心をつなげることができるから。
- ・ 家族がいるから。
- ・ 石は、死んではいけないけど、生きてもない。
- ・ 感じたい。心を使いたい。

この後の子グマ

- ・ 「生を大切にす。…生きる喜びを知った
- ・ あたりまえを大切に考える。
- ・ 死ぬことを受け入れられる。

授業後の振り返りやメモなど

Blank area for reflection or notes.